

# 2013年9月15日(土曜日)発売の**食品商業**に **TREP**の記事が紹介されました。

**パン・アキモト**(栃木県・那須塩原市)  
保存できるパンといえは乾パンが主流であるが、しっとりとした食感のパンの缶詰。1995年の阪神淡路大震災をきっかけにして開発され、2004年の新潟県中越地震で注目される。



**ティー・フェア**  
高級茶の取引拠点としてお茶文化の普及を目指す

**中村園** (福岡県・八女市)  
味の濃厚で特有の甘みを持つ八女茶の知名度向上につとめている同社では、海外への販売比率はまだ低いとのこと。香港のスーパーマーケットや卸と組んで、積極的な展開を考えている。

**キャセリンハウス** (神戸市)  
代表の正谷真名さんがお勧めする「緑茶アールグレイ」は、イタリア産オーガニックペルガモットが香り、シャンパンクレーンで目にも鮮やか。和食だけでなくイタリアン、フレンチにも合う。

**SRI LANKA TEA BOARD** (スリランカ)  
DUNBARA ELIYAとUVAの二つのお茶が日本人には合うと思います。ストリートで飲むのがお勧めです。」とマネル・ウィールセーカワさん(写真)。お茶により価格は異なるが、比較的安い。20〜40香港ドル(約300円)程度。香港での取引は30年くらいは経験があるが、これからは中国向けに傾けていきたい。

**YERBA MATE EXPERT** (アルゼンチン)  
「もともと香港の人たちはソフトな味を好んでいたが、だんだん変わってきた」とSWATHIさん。コーヒー文化の影響で最近の香港の人は強い味が好きになっているとのこと。

**日本食品**  
過去最大数の日本企業が出展し魅力を伝える

**角谷文治郎商店** (愛知県・豊南町)  
「安心・安全への信頼から、日本の食品・食材への期待感は大きい。商談会参加後に、どんどん情報が集まってくる。何年か続けて出展するのを決まっています」と田中・上橋

**鹿児島県農政課 畜産課**  
鹿児島県中、鹿児島県産を知っている人はアンケートでは半分以上。購入経験のあるのはさらにその半分とのこと。鹿児島県として海外への輸出は今後も力を入れていきたい。

**パン・アキモト** (栃木県・那須塩原市)  
保存できるパンといえは乾パンが主流であるがしっとりとした食感のパンの缶詰。1995年の阪神淡路大震災をきっかけにして開発され、2004年の新潟県中越地震で注目される。

**清食品有限公司**  
港でも知名度の高い日清食品の香港法人。カトの中には「出前一丁」の袋麺が入っている。10香港ドル (1300円)で、お土産用として人気を集めている。